

# 但馬管内の景気動向調査

2025年10～12月期実績・2026年1～3月期見通し

## 調査の概要

- 回答数:513(前回:509)
- 調査時点 2025年12月中旬
- 当金庫 営業店の調査員による、共通の調査表に基づく聞き取り調査
- 分析方法:ディフュージョン・インデックス(D. I.)  
景気の各指標について、「増加」(良い)−「減少」(悪い)の回答構成比の差に基づく分析  
※全国とは、信用金庫の中央機関である信金中央金庫が全国各地の信用金庫から集計した調査の結果を示している。



## 1. 概況 (回答数513 前回509)

全業種の2025年10～12月期の業況D.I.は△2.0ptとなり、前四半期比10.9pt改善し僅かではあるが3四半期ぶりに全国を上回った。業種別では、不動産業を除く全業種（製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業）で前四半期比より改善し、不動産業のみ悪化した。

項目別では、売上額D.I.は5.5ptとなり、前四半期比11.5pt改善し、前年同期に比べた売上額D.I.は2.1ptとなった。収益D.I.は1.6ptとなり、前四半期比12.2pt改善し、前年同期に比べた収益D.I.は△5.7ptとなった。人手過不足D.I.は△15.6ptとなり、前四半期比0.9pt悪化し、建設業、サービス業、製造業、卸売業で人手不足感が続いている。

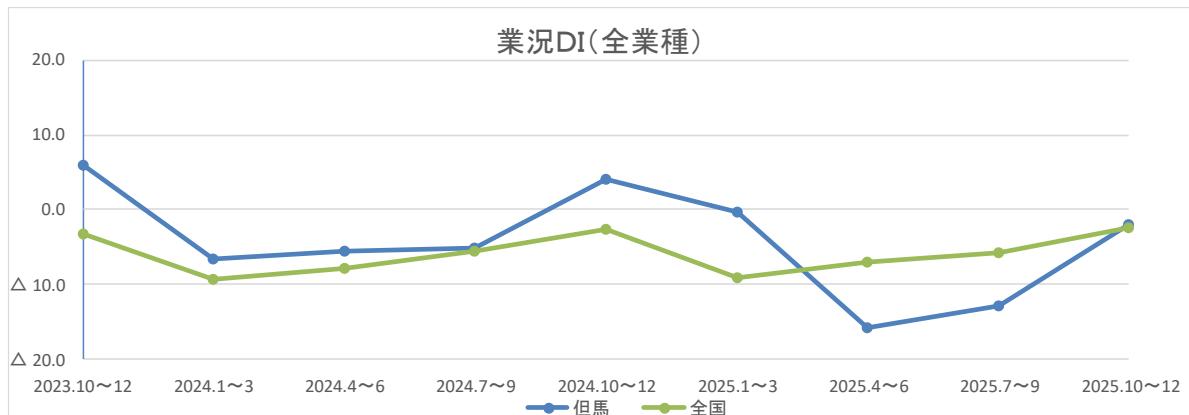
次回（2026年1～3月期）の業況D.I.は△10.3ptと今回よりも悪化が予想されている。

業種名	時 期		2025年 7月～9月	2025年 10月～12月	2026年 1月～3月(見通し)
	2025年 7月～9月	2025年 10月～12月			
総 合					
製造業					
建設業					
卸売業					
小売業					
不動産業					
サービス業					

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調 ← → 低調

全体	2025年10月～12月	前四半期比	2026年1月～3月
業況D.I.	△2.0	10.9	△10.3
前年同期比売上額D.I.	2.1	8.9	-
前年同期比収益D.I.	△5.7	6.7	-
売上額D.I.	5.5	11.5	△2.0
収益D.I.	1.6	12.2	△4.7
資金繰りD.I.	△6.5	4.8	△7.1
借入金の難易度D.I.	△9.9	△0.1	-
前期比残業時間D.I.	3.5	3.5	1.9
人手過不足D.I.	△15.6	△0.9	△15.4



## 2. 製造業（回答数91 前回92）

製造業の2025年10～12月期の業況D. I. は5. 6 p tとなり、前四半期比23. 1 p t改善した。売上額D. I. は19. 8 p tとなり、前四半期比30. 6 p t改善し、前年同期に比べた売上額D. I. は7. 7 p tとなった。収益D. I. は6. 6 p tとなり、前四半期比22. 9 p t改善し、前年同期に比べた収益D. I. は△8. 8 p tとなった。

原材料価格D. I. は51. 6 p tとなり、前四半期比9. 3 p t上昇し、直近4四半期の平均値は△43. 6 p tとなった。2022年7～9月期の71. 2 p tをピークに緩やかに低下しているが、依然として高水準であり原材料価格は高止まっている。販売価格D. I. は29. 7 p tとなり、前四半期比9. 0 p t改善しており、原材料価格が上がった分、販売価格に転嫁できている。人手過不足D. I. は△16. 9 p tとなり、前四半期比0. 9 p t改善し、直近4四半期の平均値は△16. 2 p tとなり、2022年10～12月期の△30. 3 p tをピークに緩やかに改善している。なお、前期比残業時間D. I. は14. 3 p tとなり、前四半期比11. 0 p t改善した。

次回（2026年1～3月期）の業況D. I. は△3. 3 p tと今回よりも悪化が予想されている。

製造業	2025年10月～12月	前四半期比	2026年1月～3月
業況D. I.	5.6	23.1	△ 3.3
前年同期比売上額D. I.	7.7	13.2	-
前年同期比収益D. I.	△ 8.8	2.1	-
売上額D. I.	19.8	30.6	△ 3.3
受注残D. I.	16.5	24.1	1.1
収益D. I.	6.6	22.9	△ 7.8
販売価格D. I.	29.7	9.0	10.0
原材料価格D. I.	51.6	9.3	24.4
原材料在庫D. I.	2.2	3.3	△ 3.3
資金繰りD. I.	△ 2.2	5.4	△ 7.8
借入金の難易度D. I.	△ 9.1	1.3	-
前期比残業時間D. I.	14.3	11.0	7.7
人手過不足D. I.	△ 16.9	0.9	△ 14.6
現在の設備D. I.	△ 13.3	△ 2.5	-
設備投資D. I.	12.1	△ 1.0	-
来期設備投資D. I.	11.0	△ 4.2	-

### 3. 建設業（回答数109 前回105）

建設業の2025年10～12月期の業況D. I. は△8.4 p tとなり、前四半期比6.8 p t改善したが、2024年同期調査に比べ13.3 p t下回った。売上額D. I. は△7.3 p tとなり、前四半期比6.9 p t改善し、前年同期に比べた売上額D. I. は△9.3 p tとなった。収益D. I. は△14.7 p tとなり、前四半期比1.5 p tと3四半期振りに改善したが、前年同期に比べた収益D. I. は△19.4 p tとなった。

材料価格D. I. は34.9 p tとなり、前四半期比6.1 p tと2四半期連続で低下した。2022年4～6月期の73.5 p tをピークとして直近4四半期平均値では40.6 p tであり、材料価格は高止まっている。請負価格D. I. は16.5 p tと前四半期比8.9 p t上昇しているものの、材料価格D. I. と乖離しており、収益D. I. を押し下げている。人手過不足D. I. は△20.4 p tとなり、前四半期比6.1 p t悪化しており、直近4四半期平均値では△18.3 p tであり、人手不足感は続いている。

次回（2026年1～3月期）の業況D. I. は△21.9 p tと今回よりも悪化が予想されている。

建設業	2025年10月～12月	前四半期比	2026年1月～3月
業況D. I.	△ 8.4	6.8	△ 21.9
前年同期比売上額D. I.	△ 9.3	1.2	-
前年同期比収益D. I.	△ 19.4	△ 6.1	-
売上額D. I.	△ 7.3	6.9	△ 9.2
受注残D. I.	△ 4.6	11.6	△ 8.3
施工高D. I.	2.8	11.3	△ 6.4
収益D. I.	△ 14.7	1.5	△ 13.8
請負価格D. I.	16.5	8.9	12.8
材料価格D. I.	34.9	△ 6.1	23.9
在庫D. I.	△ 2.8	1.1	0.0
資金繰りD. I.	△ 6.5	△ 0.8	△ 7.4
借入金の難易度D. I.	0.9	3.9	-
前期比残業時間D. I.	0.0	3.8	△ 0.9
人手過不足D. I.	△ 20.4	△ 6.1	△ 17.6
現在の設備D. I.	△ 2.8	△ 0.9	-
設備投資D. I.	17.4	△ 4.5	-
来期設備投資D. I.	15.6	△ 4.4	-

#### 4. 卸売業（回答数59 前回60）

卸売業の2025年10～12月期の業況D. I. は△15.3ptとなり、前四半期比3.4pt改善し、2024年同期調査に比べ0.8pt上回った。売上額D. I. は3.4ptとなり、前四半期比18.4pt改善し、前年同期に比べた売上額D. I. は5.1ptとなった。収益D. I. は5.1ptとなり、前四半期比18.4ptと2四半期連続で改善し、前年同期に比べた収益D. I. は△1.7ptとなった。

販売価格D. I. は39.0ptとなり、前四半期比9.0pt上昇し、前年同期に比べた販売価格D. I. は49.2ptとなり、直近4四半期平均値では29.6ptとなった。仕入価格D. I. は59.3ptとなり、前四半期比16.0pt上昇し、直近4四半期平均値では48.3ptとなった。販売価格D. I. に比して仕入価格D. I. が高い状況が続いているが、価格転嫁が進んでいないことがうかがえる。なお、資金繰りD. I. は△18.6ptとなり、直近4四半期平均値では△19.0ptと厳しい状況が続いている

人手過不足D. I. は△12.3ptとなり、前四半期比10.1pt改善したが、直近4四半期平均値では△18.0ptであり、人手不足感は続いている。

次回（2026年1～3月期）の業況D. I. は△26.3ptと今回よりも悪化が予想されている。

卸売業	2025年10月～12月	前四半期比	2026年1月～3月
業況D. I.	△ 15.3	3.4	△ 26.3
前年同期比売上額D. I.	5.1	6.8	-
前年同期比収益D. I.	△ 1.7	△ 1.7	-
前年同期比販売価格D. I.	49.2	5.8	-
売上額D. I.	3.4	18.4	△ 10.2
収益D. I.	5.1	18.4	△ 11.9
販売価格D. I.	39.0	9.0	25.4
仕入価格D. I.	59.3	16.0	39.0
在庫D. I.	8.5	6.8	1.7
資金繰りD. I.	△ 18.6	6.4	△ 15.3
借入金の難易度D. I.	△ 17.2	2.4	-
前期比残業時間D. I.	3.4	0.1	△ 1.7
人手過不足D. I.	△ 12.3	10.1	△ 14.0
現在の設備D. I.	△ 10.9	△ 7.6	-
設備投資D. I.	20.3	△ 8.0	-
来期設備投資D. I.	20.3	△ 4.7	-

## 5. 小売業（回答数73 前回79）

小売業の2025年10～12月期の業況D. I. は△8.3ptとなり、前四半期比11.9pt改善し、2024年同期調査に比べ4.0pt上回った。売上額D. I. は△5.5ptとなり、前四半期比2.1pt改善し、前年同期に比べた売上額D. I. は△4.1ptとなった。収益D. I. は1.4ptとなり、前四半期比16.6ptと2四半期連続で改善し、前年同期に比べた収益D. I. は△6.8ptとなった。

仕入価格D. I. は35.6ptとなり、前四半期比2.7pt上昇し、直近4四半期平均値では37.8ptとなった。次回予想では17.8ptであり、2022年7～9月期の60.9ptをピークに仕入価格は緩やかに低下する見通しとなっている。販売価格D. I. は27.4ptとなり、前四半期比4.6pt改善している。なお、資金繰りD. I. は△11.0ptとなり、直近4四半期平均値では△16.1ptと厳しい状況が続いている

次回（2026年1～3月期）の業況D. I. は△15.3ptとなり、今回よりも悪化が予想されている。

小売業	2025年10月～12月	前四半期比	2026年1月～3月
業況D. I.	△ 8.3	11.9	△ 15.3
前年同期比売上額D. I.	△ 4.1	7.3	-
前年同期比収益D. I.	△ 6.8	13.4	-
前年同期比販売価格D. I.	34.2	6.4	-
売上額D. I.	△ 5.5	2.1	△ 15.1
収益D. I.	1.4	16.6	△ 11.0
販売価格D. I.	27.4	4.6	9.6
仕入価格D. I.	35.6	2.7	17.8
在庫D. I.	2.7	△ 1.1	△ 1.4
資金繰りD. I.	△ 11.0	8.0	△ 6.9
借入金の難易度D. I.	△ 17.8	△ 3.7	-
前期比残業時間D. I.	△ 1.4	△ 1.4	△ 1.4
人手過不足D. I.	△ 8.2	△ 3.2	△ 12.3
現在の設備D. I.	△ 8.2	△ 4.4	-
設備投資D. I.	12.3	△ 0.3	-
来期設備投資D. I.	11.0	△ 6.8	-

## 6. 不動産業（回答数 17 前回 16）

不動産業の2025年10～12月期の業況D. I. は△17.6 p tとなり、前四半期比11.4 p t悪化し、2024年同期調査に比べても24.7 p t下回った。売上額D. I. は±0.0 p tとなり、前四半期比18.8 p t改善し、前年同期に比べた売上額D. I. は△5.9 p tとなつた。収益D. I. は±0.0 p tとなり、前四半期比12.5 p t改善し、前年同期に比べた収益D. I. は5.9 p tとなつた。

販売価格D. I. は12.5 p tとなり、前四半期比6.3 p t上昇した。仕入価格D. I. は13.3 p tとなり、前四半期比5.4 p t低下した。在庫D. I. は△13.3 p tとなり、前四半期比13.3 p t低下し、直近4四半期の平均値は△9.2 p tとなつた。次回予想は△13.3 p tであり在庫不足感が続く見通しとなつてゐる。

次回（2026年1～3月期）の業況D. I. は△17.6 p tと今回同様と予想されている。

不動産業	2025年10月～12月	前四半期比	2026年1月～3月
業況D. I.	△ 17.6	△ 11.4	△ 17.6
前年同期比売上額D. I.	△ 5.9	0.4	-
前年同期比収益D. I.	5.9	12.1	-
売上額D. I.	0.0	18.8	0.0
収益D. I.	0.0	12.5	0.0
販売価格D. I.	12.5	6.3	12.5
仕入価格D. I.	13.3	△ 5.4	13.3
在庫D. I.	△ 13.3	△ 13.3	△ 13.3
資金繰りD. I.	△ 18.8	△ 12.5	△ 18.8
借入金の難易度D. I.	△ 11.8	△ 5.5	-
前期比残業時間D. I.	0.0	0.0	0.0
人手過不足D. I.	0.0	△ 6.3	0.0

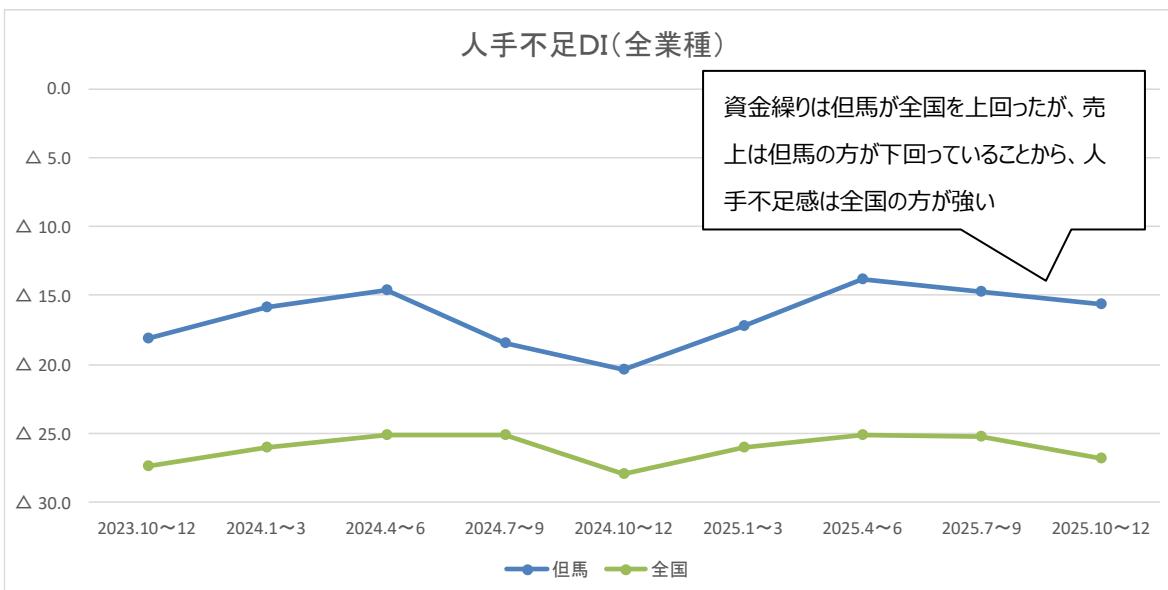
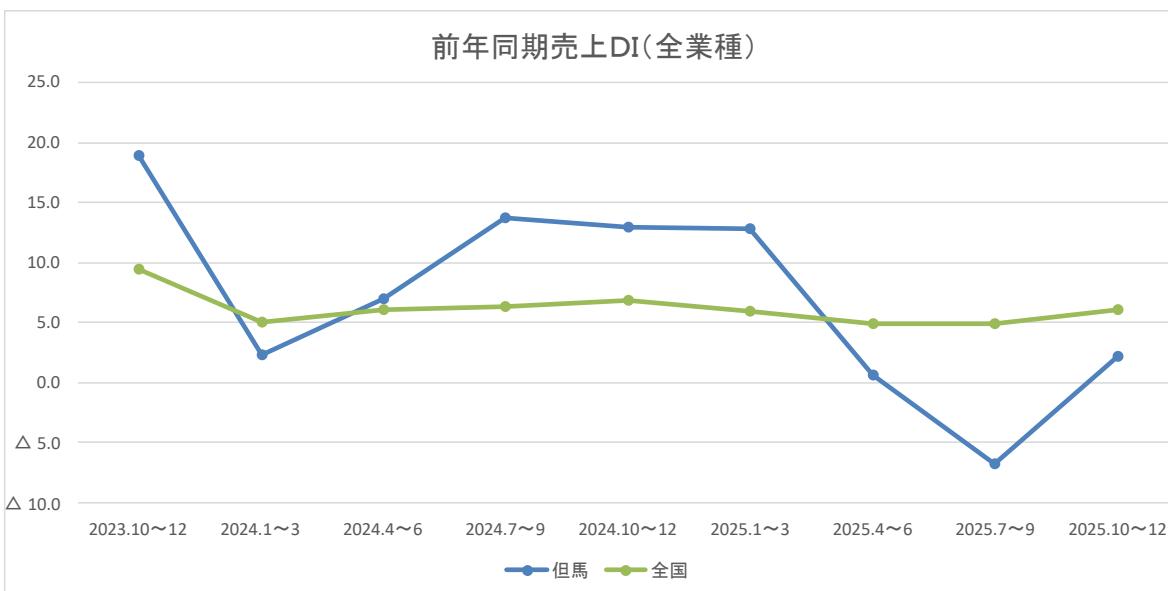
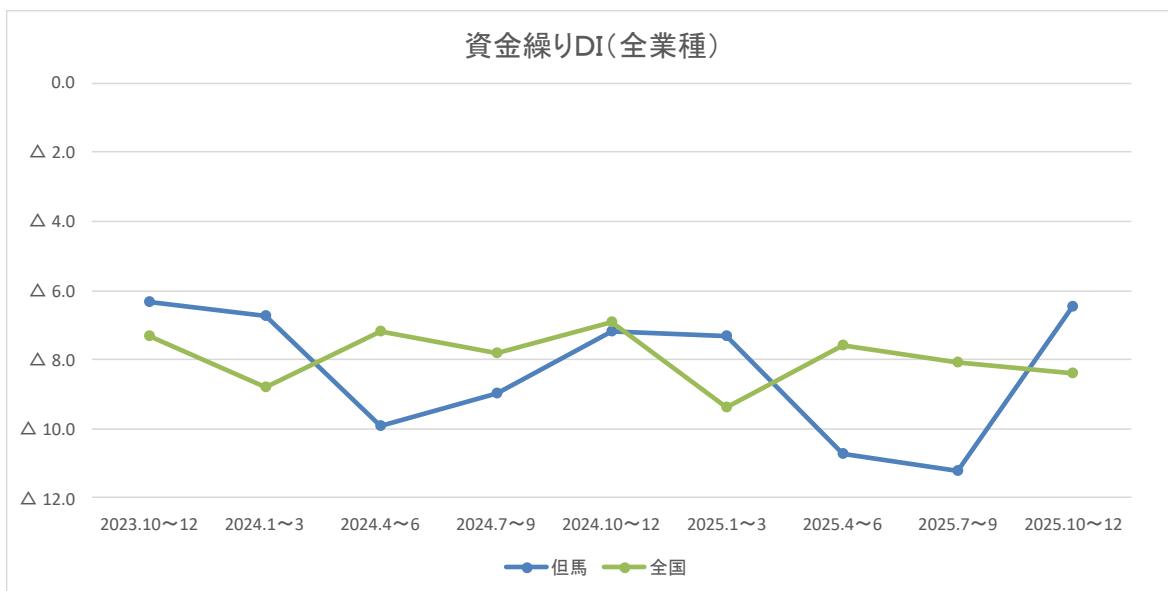
## 7. サービス業（回答数164 前回157）

サービス業の2025年10～12月期の業況D. I. は7. 3 p tとなり、前四半期比10. 5 p tと2四半期連続で改善したが、2024年同期調査に比べ8. 3 p t下回った。売上額D. I. は12. 2 p tとなり、前四半期比4. 6 p t改善し、前年同期に比べた売上額D. I. は9. 1 p tとなった。収益D. I. は8. 5 p tとなり、前四半期比8. 5 p t改善し、前年同期に比べた収益D. I. は3. 0 p tとなった。

料金価格D. I. は24. 4 p tとなり、前四半期比7. 2 p t上昇し、直近4四半期の平均値は18. 8 p tとなった。材料価格D. I. は32. 9 p tとなり、前四半期比0. 2 p t低下し、直近4四半期の平均値は33. 9 p tとなった。料金価格D. I. に比して材料価格D. I. が高い状況が続いており、価格転嫁が進んでいないことがうかがえる。

次回（2026年1～3月期）の業況D. I. は1. 8 p tと今回よりも悪化が予想されている。

サービス業	2025年10月～12月	前四半期比	2026年1月～3月
業況D. I.	7. 3	10. 5	1. 8
前年同期比売上額D. I.	9. 1	13. 6	-
前年同期比収益D. I.	3. 0	17. 2	-
売上額D. I.	12. 2	4. 6	12. 2
収益D. I.	8. 5	8. 5	7. 9
料金価格D. I.	24. 4	7. 2	14. 6
材料価格D. I.	32. 9	△ 0. 2	18. 9
資金繰りD. I.	△ 1. 2	7. 1	△ 2. 4
借入金の難易度D. I.	△ 11. 0	△ 2. 6	-
前期比残業時間D. I.	2. 4	3. 1	3. 7
人手過不足D. I.	△ 17. 9	△ 0. 5	△ 17. 9
現在の設備D. I.	△ 7. 9	6. 1	-
設備投資D. I.	14. 0	△ 10. 8	-
来期設備投資D. I.	13. 4	△ 7. 0	-



## 業種別D.I等の推移表

全業種	前年同期に比べた							全国	前年同期に比べた						
	業況	売上額	収益	売上額	収益	資金繰り	前期比 残業時間		人手	借入金の 難易度	業況	売上額	収益	資金繰り	人手
2023.10~12	6.0	18.9	7.9	17.5	9.2	△ 6.3	4.0	△ 18.1	△ 8.0	2023.10~12	△ 3.3	9.5	△ 2.7	△ 7.3	△ 27.4
2024.1~3	△ 6.6	2.3	△ 6.3	△ 2.5	△ 7.9	△ 6.7	1.3	△ 15.9	△ 7.6	2024.1~3	△ 9.3	5.1	△ 4.9	△ 8.8	△ 26.1
2024.4~6	△ 5.5	7.0	△ 0.4	△ 2.9	△ 13.8	△ 9.9	△ 2.7	△ 14.6	△ 6.4	2024.4~6	△ 7.8	6.1	△ 5.0	△ 7.2	△ 25.1
2024.7~9	△ 5.2	13.7	1.1	10.1	3.2	△ 9.0	0.8	△ 18.5	△ 6.9	2024.7~9	△ 5.6	6.3	△ 3.7	△ 7.8	△ 25.2
2024.10~12	4.1	13.0	5.2	12.8	8.7	△ 7.2	6.2	△ 20.4	△ 8.7	2024.10~12	△ 2.6	6.8	△ 3.2	△ 6.9	△ 28.0
2025.1~3	△ 0.4	12.9	4.4	7.3	2.4	△ 7.3	4.3	△ 17.3	△ 8.1	2025.1~3	△ 9.1	6.0	△ 5.3	△ 9.4	△ 26.1
2025.4~6	△ 15.9	0.6	△ 9.1	△ 11.5	△ 17.6	△ 10.7	1.4	△ 13.8	△ 7.6	2025.4~6	△ 6.9	4.9	△ 4.6	△ 7.6	△ 25.1
2025.7~9	△ 12.8	△ 6.7	△ 12.4	△ 6.1	△ 10.6	△ 11.2	0.0	△ 14.7	△ 9.7	2025.7~9	△ 5.7	4.9	△ 4.1	△ 8.1	△ 25.3
2025.10~12	△ 2.0	2.1	△ 5.7	5.5	1.6	△ 6.5	3.5	△ 15.6	△ 9.9	2025.10~12	△ 2.4	6.1	△ 3.5	△ 8.4	△ 26.8
2026.1~3	△ 10.3									2026.1~3	△ 7.9				

製造業	前年同期に比べた							全国	前年同期に比べた						
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	収益	販売価格	原材料価格	原材料在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
2023.10~12	15.6	15.8	4.2	26.3	20.8	9.4	28.1	53.1	11.5	△ 3.1	8.3	△ 24.2	△ 6.4	△ 14.6	51.0
2024.1~3	6.7	9.8	△ 1.1	3.3	7.6	△ 2.2	21.7	53.3	3.3	2.2	10.9	△ 16.9	△ 2.5	△ 19.6	29.3
2024.4~6	△ 6.7	23.4	12.8	1.1	△ 2.1	△ 10.6	16.0	48.9	4.3	△ 1.1	△ 5.3	△ 20.9	△ 6.5	△ 11.7	10.6
2024.7~9	△ 11.1	12.9	△ 7.5	4.3	1.1	△ 3.2	34.4	59.1	2.2	△ 5.4	△ 2.2	△ 24.1	△ 6.7	△ 9.7	17.2
2024.10~12	10.1	21.3	11.2	21.1	23.3	15.6	37.8	58.9	5.6	△ 2.2	15.7	△ 28.4	△ 1.1	△ 11.1	20.0
2025.1~3	△ 10.1	1.1	△ 8.9	△ 13.3	△ 20.0	△ 24.4	18.9	36.7	0.0	△ 6.7	3.3	△ 20.7	△ 5.7	△ 11.1	17.8
2025.4~6	△ 19.5	3.4	△ 13.8	△ 4.6	△ 11.5	△ 12.6	17.2	43.7	△ 5.7	△ 6.9	6.9	△ 9.4	△ 9.3	△ 8.0	18.4
2025.7~9	△ 17.6	△ 5.5	△ 10.9	△ 10.9	△ 7.6	△ 16.3	20.7	42.4	△ 1.1	△ 7.6	3.3	△ 17.8	△ 10.3	△ 10.9	13.0
2025.10~12	5.6	7.7	△ 8.8	19.8	16.5	6.6	29.7	51.6	2.2	△ 2.2	14.3	△ 16.9	△ 9.1	△ 13.3	12.1
2026.1~3	△ 3.3														

建設業	前年同期に比べた							全国	前年同期に比べた							
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	施工高	収益	請負価格	材料価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
2023.10~12	△ 3.8	3.8	△ 5.7	7.6	6.7	8.6	△ 4.8	9.5	45.7	△ 1.0	△ 3.8	1.9	△ 23.5	2.9	△ 2.9	54.3
2024.1~3	△ 8.7	0.0	△ 6.5	△ 7.5	△ 13.1	△ 2.8	△ 12.1	14.0	45.8	△ 2.8	△ 8.4	△ 1.9	△ 18.6	△ 6.1	△ 3.8	25.2
2024.4~6	2.9	△ 2.0	△ 4.9	5.8	5.9	9.7	△ 2.0	24.3	54.4	△ 1.9	△ 9.7	△ 2.9	△ 14.6	△ 4.0	△ 5.8	20.4
2024.7~9	0.9	4.6	△ 10.2	13.1	8.3	15.7	1.9	18.5	46.3	0.0	△ 0.9	△ 2.8	△ 19.2	0.0	△ 4.6	15.7
2024.10~12	4.9	10.8	4.9	2.0	1.0	12.7	5.9	26.7	52.9	3.9	△ 10.8	1.0	△ 24.2	△ 2.1	△ 6.9	25.5
2025.1~3	3.0	7.1	△ 1.0	7.1	△ 3.0	4.0	6.1	23.5	42.4	3.0	△ 8.1	5.1	△ 14.3	△ 2.1	△ 7.1	24.2
2025.4~6	△ 1.0	10.0	5.0	3.0	2.0	5.0	△ 1.0	13.0	44.0	△ 3.0	△ 1.0	△ 0.0	△ 24.2	2.0	△ 6.1	28.0
2025.7~9	△ 15.2	△ 10.5	△ 13.3	△ 14.3	△ 16.2	△ 8.6	△ 16.2	7.6	41.0	△ 3.8	△ 5.7	△ 3.8	△ 14.3	△ 2.9	△ 1.9	21.9
2025.10~12	△ 8.4	△ 9.3	△ 19.4	△ 7.3	△ 4.6	2.8	△ 14.7	16.5	34.9	△ 2.8	△ 6.5	0.0	△ 20.4	0.9	△ 2.8	17.4
2026.1~3	△ 21.9															

卸売業	前年同期に比べた							全国	前年同期に比べた						
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
2023.10~12	5.0	30.0	6.7	38.3	31.7	20.0	26.7	40.0	5.0	△ 3.3	0.0	△ 10.5	△ 11.1	△ 8.3	61.7
2024.1~3	△ 19.0	7.9	△ 3.2	36.5	4.8	△ 7.9	31.7	60.3	11.1	△ 8.1	0.0	△ 22.6	△ 8.0	△ 11.3	30.2
2024.4~6	△ 15.8	3.5	△ 15.8	45.6	△ 1.8	△ 21.1	36.8	49.1	12.3	△ 12.3	0.0	△ 24.1	△ 9.3	△ 8.8	19.3
2024.7~9	△ 11.7	13.3	△ 3.3	46.7	3.3	△ 6.7	46.7	50.8	6.7	△ 10.0	1.7	△ 22.2	△ 5.5	△ 10.0	21.7
2024.10~12	△ 16.1	△ 3.2	△ 9.7	35.5	3.2	△ 3.2	21.0	37.1	8.1	△ 17.7	3.2	△ 11.9	△ 15.8	△ 3.2	21.0
2025.1~3	△ 15.5	△ 1.8	△ 7.1	41.1	△ 8.6	△ 6.9	25.9	46.6	1.7	△ 17.2	5.2	△ 18.2	△ 18.2	△ 10.3	19.0
2025.4~6	△ 23.7	△ 10.3	△ 10.3	25.9	△ 8.5	△ 20.3	23.7	44.1	△ 1.7	△ 15.3	3.4	△ 19.0	△ 15.3	△ 6.9	22.0
2025.7~9	△ 18.6	△ 1.7	0.0	43.3	△ 15.0	△ 13.3	30.0	43.3	1.7	△ 25.0	3.3	△ 22.4	△ 19.6	△ 3.3	28.3
2025.10~12	△ 15.3	5.1	△ 1.7	49.2	3.4	5.1	39.0	59.3	8.5	△ 18.6	3.4	△ 12.3	△ 17.2	△ 10.9	20.3
2026.1~3	△ 26.3														

小売業	前年同期に比べた							全国	前年同期に比べた						
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
2023.10~12	3.7	20.7	15.9	29.3	19.5	18.3	34.1	42.7	3.7	△ 11.0	2.4	△ 12.8	△ 13.7	△ 3.7	68.3
2024.1~3	△ 6.1	4.9	△ 7.3	30.5	0.0	△ 4.9	19.5	40.7	2.4	△ 7.3	△ 2.4	△ 11.1	△ 12.0	△ 2.4	31.7
2024.4~6	△ 17.3	△ 2.4	△ 7.3	30.5	△ 18.3	△ 29.3	22.0	35.4	2.4	△ 18.3	△ 3.7	△ 8.6	△ 15.0	△ 4.9	17.1
2024.7~9	△ 12.7	10.3	3.8	32.1	0.0	△ 5.1	31.6	41.8	2.5	△ 16.5	0.0	△ 17.3	△ 12.3	△ 7.6	6.3
2024.10~12	△ 12.3	7.4	△ 7.4	38.3	11.1	2.5	28.4	39.5	3.7	△ 7.4	△ 1.2	△ 12.3	△ 13.6	△ 8.6	12.3
2025.1~3	△ 19.0	8.9	2.5	41.8	5.1	△ 2.5	32.9	46.8	7.6	△ 12.7	1.3	△ 10.7	△ 18.7	△ 10.1	17.7
2025.4~6	△ 24.4	△ 9.0	△ 23.1	30.8	△ 20.5	△ 30.8	14.1	35.9	0.0	△ 21.8	0.0	△ 7.8	△ 11.5	△ 11.5	17.9
2025.7~9	△ 20.3	△ 11.4	△ 20.3	27.8	△ 7.6	△ 15.2	22.8	32.9	3						

## 《特別調査》

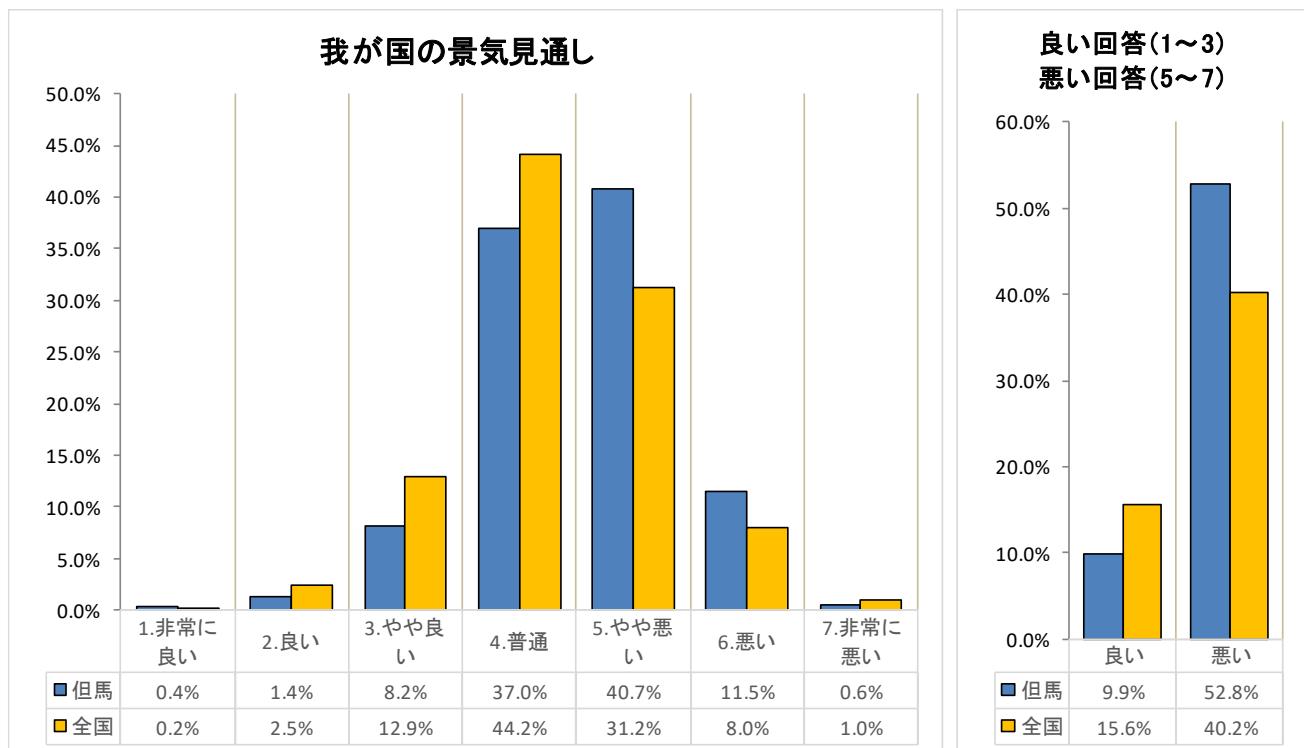
### 「2026年（令和8年）の経営見通し」

1992年以降、10～12月期調査においては、来年の経営見通しについて定点観測を行っている。今回は、例年通り来年（2026年）の経営見通しについて調査するとともに、2027年3月末で廃止が予定されている紙の手形・小切手の利用状況についても調査した。

問1．貴社では、2026年の日本の景気をどのように見通していますか。次の1～7の中から1つ選んでお答えください。

2026年の我が国の景気見通しについては、「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答する割合が但馬9.9%、全国15.6%となり、「悪い」（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）が但馬52.8%、全国40.2%となった。

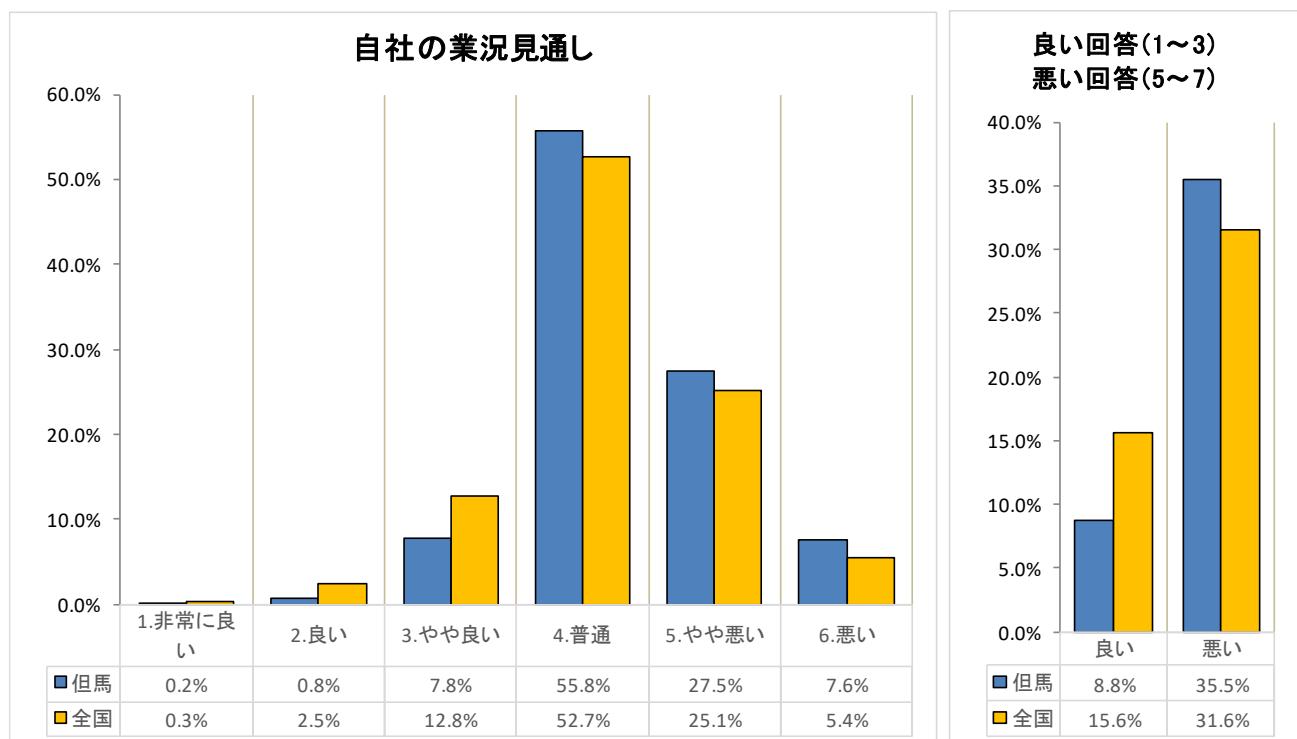
この結果、「良い一悪い」は但馬△42.9pt、全国△24.6ptと、1年前の調査（但馬△49.0pt、全国△41.1pt）と比べて但馬6.1pt、全国16.5ptとそれぞれ上昇した。但馬地区の方が全国と比べて1年前比の上昇幅が小さく、景気見通しは厳しい結果となった。尚、1992年の同調査開始以来の平均（△53.9pt）は上回った。



問2. 貴社では、2026年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の1～7の中から1つ選んでお答えください。

2026年の自社の業況見通しについては、「良い」（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）と回答する割合が但馬8.8%、全国15.6%となり、「悪い」（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）が但馬35.5%、全国31.6%となった。

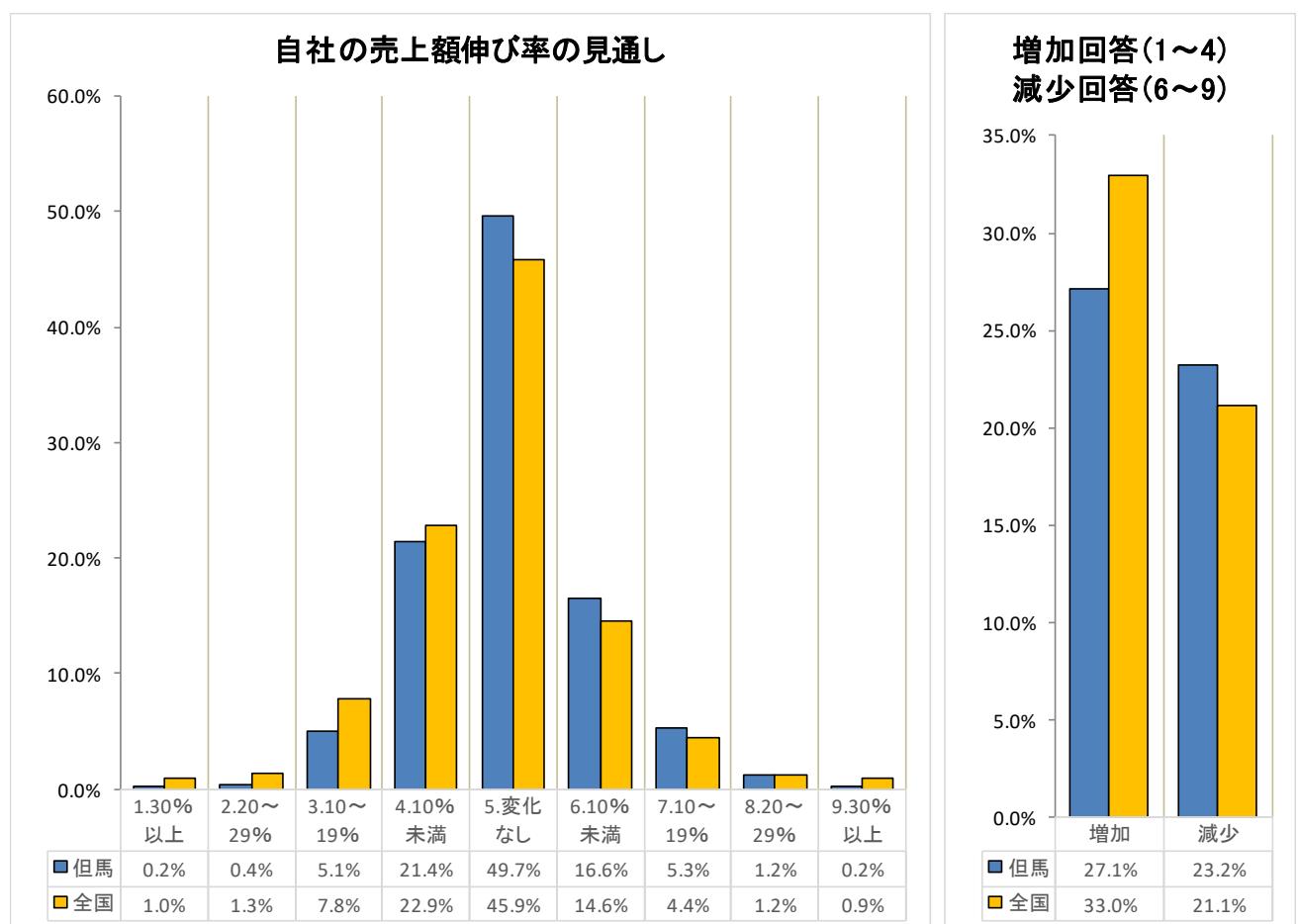
この結果、「良い一悪い」が但馬△26.7pt、全国△16.0ptとなり、1年前の調査（但馬△26.8pt、全国△20.8pt）に比べて但馬で0.1pt、全国で4.8ptとそれぞれ改善した。従って、自社の業況見通しについても1年前比では但馬地区の方が改善していないと言える。



問3. 2026年において貴社の売上額の伸び率は、2025年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の1~9の中から1つ選んでお答えください。

2026年の自社の売上額見通し(伸び率)については、増加が但馬27.1%、全国33.0%となり、減少が但馬23.2%、全国21.1%となった。この結果、「増加-減少」が但馬3.9p t、全国11.9p tとなり、1年前の調査(但馬1.1p t、全国11.6p t)に比べて但馬2.8p t、全国0.3p tとそれぞれ上昇した。

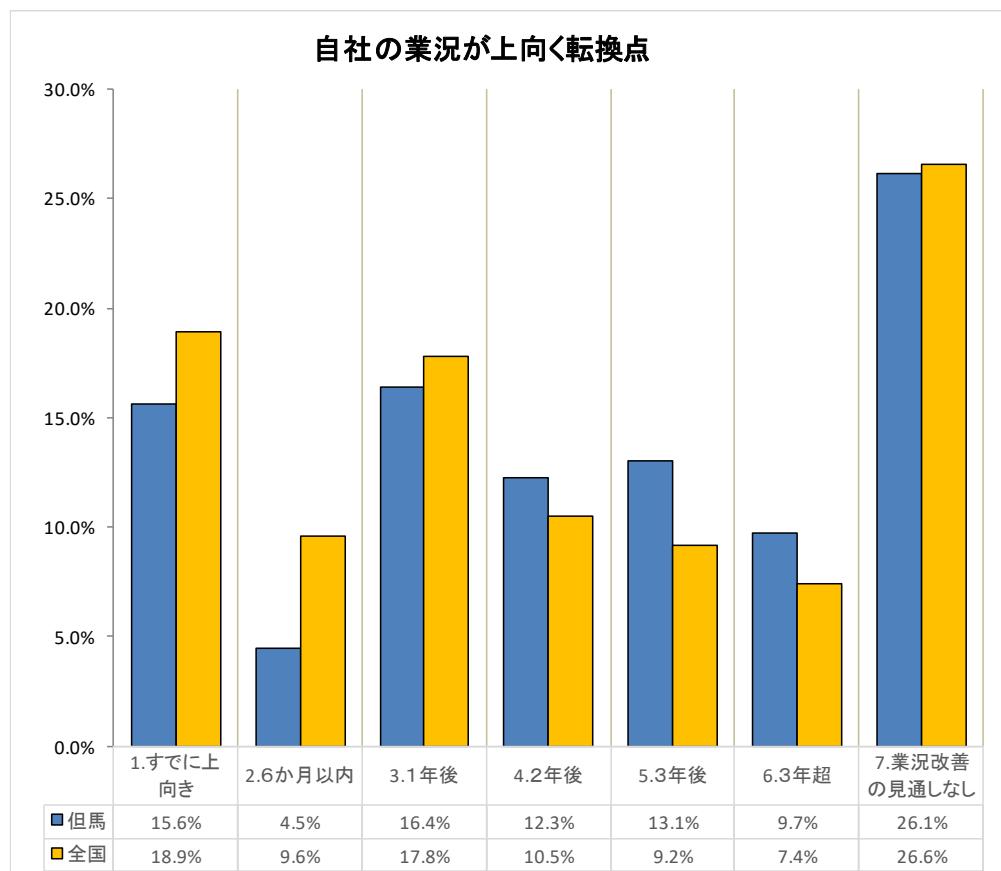
「増加-減少」では但馬と全国で8.0p tの差が見られる上に、増加は但馬が全国より5.9p t下回り、減少は但馬が全国より2.1p t上回っていることから、但馬地区の方が全国より売上額見通しは厳しいと言える。



問4. 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の1～7の中から1つ選んでお答えください。

自社の業況が上向く転換点については、「業況改善の見通しは立たない」が但馬26.1%、全国26.6%となり、1年前の調査（但馬26.1%、全国25.4%）に比べて但馬は±0.0ptとなり、全国は1.2pt上昇した。結果、コロナ禍以降、業況改善の見通しが立たない企業の割合が高止まっている。

「すでに上向き」は但馬15.6%、全国18.9%と3.3ptの乖離があった。また、1年以内に業況が上向くとする企業は全国の方が多い、2年後以降に上向くとする企業は但馬の方が多い結果となった。



問5. 紙の手形・小切手の利用状況についてお伺いします。政府は、2027年3月末までに約束手形の利用廃止、小切手の全面的な電子化の方針を示しています。貴社では、現時点で、企業間の資金決済の手段として、紙の手形・小切手を使っていますか。使っている場合はその理由を1～6の中から、もともと使っていたがやめた場合は現在の主な資金決済手段を7～9の中から、そもそも手形・小切手自体を使っていない場合は0から、最も当てはまるものを1つだけお選びください。

紙の手形・小切手の利用状況については、使っていると回答した企業は合計で但馬22.2%、全国29.7%となり、2～3割の企業で紙の小切手が残存しているという結果になった。

一方で「紙の手形・小切手をやめた」企業は合計で但馬26.3%、全国26.2%、「そもそも使っていない」企業は但馬51.5%、全国44.1%となった。

